

平成の大修理

半世紀の消耗の入れ替え

1964 年の昭和の大修理から数十年が経ち、太陽や雨風が城に大きな悪影響を与えた。真っ白な漆喰の外観は 50 年ごとに塗り替えられるべきであるため、天守閣の全面的な修復が 2009 年から 2015 年にかけて行われた。先の大修理の時のような天守閣の解体は行われなかったが、平成の修復はやはり大きな事業だった。5 年以上にわたる期間に、職人は屋根瓦を取り替え、壁を修復し、地震に備えて建物を補強した。訪問者には進行中の作業を見ることができる屋根のついた足場へ行けるようにされた。

平成の大修復に関する年表

2009 年 10 月 備前丸の現場調査
2009 年 12 月 喜斎門の仮の橋完成
2010 年 3 月 物資運搬の架台完成
2011 年 3 月 屋根付きの足場完成 一般人の見学場所開かれる 本丸の屋根，外壁，他の特色の正確な寸法を得るための調査が始まる。
2012 年 11 月 屋根瓦の取り替え完成
2013 年 11 月 壁の漆喰塗装と屋根の接合完成
2014 年 1 月 構造上の補強作業完了 見学場所閉鎖
2014 年 10 月 足場解体、撤去
2014 年 12 月 運搬用架台撤去
2015 年 2 月 喜斎門の仮の橋撤去
2015 年 3 月 事業完了

足場

重さを軽減するための箱形の腕木

寸法：東西 47 メートル；南北 45 メートル

高さ：53 メートル(8 階建てのビルに相当)

総床面積：約 8,300 平方メートル

材料の配達

機械類と材料は配達用ガントリー装置で備前丸に運ばれた

ガントリー装置の高さ：およそ 38 メートル

ガントリー装置の長さ：およそ 66 メートル

建設作業

屋根瓦取り替えと壁の修理

取り替えられた屋根瓦部分の面積：2,060 平方メートル

塗り替えられた漆喰部分（屋根瓦の接着部分を含む）の面積：7,800 平方メートル

改良された耐震性を持つ建物の補強

期間：5 年 4 ヶ月(2009 年 11 月より 2015 年 3 月)